

小貝川フワー フェスティバル

5月11日、小貝川ふれあい公園で「小貝川フワーフェスティバル 2025」が開催されました。約 3.2 ヘクタールの広大な花畑には、約 200 万本もの色とりどりのポピーが咲き誇り、多くの来場者を楽しませました。

会場では地元の特産品や新鮮な野菜の直売が行われ、さらに数量限定の豚汁も無料で配られました。抽選会も大盛況で、特設ステージでは東部中学校の吹奏楽部の演奏や伝統踊りが披露されました。市民ステージでも太鼓やフラダンスなど、バラエティ豊かな演目を楽しめました。



花とふれあいまつり。 鬼怒川流域交流日ボート大会

5月18日、鬼怒川河川敷の鬼怒フワーラインでは、「第 34 回花とふれあいまつり」と「鎌庭捷水路通水 90 年記念第 29 回鬼怒川流域交流 E ボート大会茨城県大会」が同時に開催され、約 50 万本のポピーが咲き誇る美しい景色の中、多くの人々が集まりました。

「花とふれあいまつり」では地域の団体や企業、大形小学校の「花万ジュニアスタッフ」、千代川中学校の生徒が協力し、手作りの出店や体験ブース、花のステージが展開され、訪れた人々は心温まるひとときを過ごしました。

「鬼怒川流域交流 E ボート大会」では、10 人乗りの手漕ぎボートによる白熱のレースが行われ、参加者と観客が一体となって盛り上がりました。今年は鎌庭捷水路が通水してから 90 年の特別な年を祝うイベントとなり、より一層の盛り上がりを見せました。



多賀谷時代まつり

4月27日、戦国時代に下妻を治めた多賀谷氏をテーマにした「多賀谷時代まつり」が開催され、今年で 16 回目を迎えました。このイベントは、多賀谷氏の歴史を振り返り、地域の文化を再発見することを目的としています。

市内外から訪れた 6,000 人の来場者で賑わい、多くの家族連れが楽しむ姿が見られました。ステージでは出陣太鼓や下妻一高応援団の演舞が披露され、川越藩火縄銃鉄砲保存会による古式火縄銃演武では、迫力ある銃声に観客から歓声が上がりました。

実行委員長の川澄次男さんは、「地域の皆さんのご協力によってこのまつりは成り立っている。今後とも応援していただければありがたい。」と語りました。



下妻市キャリア教育推進事業『しもつま未来学』の一環であるこの事業には、多くの小学生が参加しました。

多賀谷氏についての歴史のおはなしやクイズ、新聞紙や段ボールを使った武具作りに挑戦した後、手作りのカブトとはっぴを身につけて、武者行列にも参加しました。

児童たちからは、「自分でも下妻市のことを調べてみたい」「来年も参加したい」との感想が寄せられました。この事業を通して、下妻市の歴史の一端に触れるとともに、地域に対する誇りと愛情を養うことができました。



多賀谷時代まつり チャレンジ2025